

博多をぐるっと、秋めぐり。



A K I H A K U
2 0 1 8



博多秋博ガイド2018

秋の博多は、歴史や文化、伝統に触れられるイベントや祭りがまちのあちこちで開かれる。深まりゆく秋を鮮やかに彩る、心ときめく「博多秋博」のラインアップをご紹介します。歩いて、見て、聞いて、味わって…。昼も、夜も魅力にあふれる博多のまちに出掛けよう。



博多の秋をもっと楽しく！ 詳しくは「博多秋博」ホームページをチェック！

「博多秋博」
ホームページ

hakata-akihaku.com

博多秋博

検索

問い合わせ

博多の魅力発信会議事務局
(博多区役所企画振興課)

☎092-419-1012(9:00~18:00、土・日曜、祝日を除く)

ENGLISH
Akihaku Guide

FUKUOKA
NOW



伝統と革新を紡ぐ博多織 にぎわう秋の博多で魅力を知る

由緒ある寺社が立ち並び、和の文化が息づく博多部で「博多秋博」が開催される。今年には福岡を代表する伝統的工芸品の一つ、博多織が伝来から777周年を数えるめでたい年。期間中は、伝来777周年を記念した催しが多数開催される。歴史や文化、伝統に触れられるイベントや祭り、にぎわう秋の博多は、和の装いが特に映える。博多織の奥深さを知り、魅力に触れる絶好の機会だ。



博多織発祥の地、承天寺

人々を引き付ける 伝統的な献上柄

博多織発祥の地として知られる承天寺で開かれる「和の博多」オープニングイベントでは、人気インスタグラマーなどによる「博多の魅力の伝え方」をテーマにしたトークライブを実施。その他にも、博多織の新作を発表する「博多織求評会」や、黒留め袖に博多献上帯姿の女性が練り歩く「博多献上道中」など、「博多秋博」は普段はなかなか見ることができない博多織の多彩な魅力に出合える。

博多織は、承天寺の開祖・聖一國師と共に宋へ渡った博多の商人・満田弥三右衛門が1241年に、絹織物の製法を博多に持ち帰ったのが起源といわれる。江戸時代になると、福岡藩の初代藩主・黒田長政が博多織を幕府への献上品に選ぶ。献上する博多織は、文様に仏具の「独鈷」と「華血」「中間に「縞」を配すと決められ、「献上柄」と呼ばれるようになった。

博多織工業組合の岡野博一理事長は、博多織が777年もの歴史の帯以外にも、小物や洋服、インテリアなどに活用され、新たな世界が広がっている。博多織の持つストーリーに思いをはせ、気軽に生活の中に取り入れる楽しみも増えた。



献上柄
親子縞 独鈷 孝行縞 華血
細い縞が太い縞を挟む両子持縞(孝行縞)は子が親を尊び守る姿、太い縞が細い縞を挟む中子縞(親子縞)は親が子を慈しみ守る姿を表す

華血
仏の供養をする時、花を散布する際に用いられる器で仏具の一種。華血の柄には場を清める意味がある

独鈷
煩惱を打ち砕くとされる金属製の仏具。独鈷の柄には厄よけ、守護の意味が込められている

伝統的な献上柄を継承しながら、時代を捉えた革新を試みるのも博多織のスタイルだ。最近では主

格好良さ引き立つ 凛とした雰囲気

博多織は経糸を中心に絵柄を出す「経錦」と呼ばれる織物で、張りとしのある生地が特徴だ。博多織の帯は滑りが良く、しかもほどけにくいので、着物を着慣れない人も締めやすい。糸の密度が高く、帯を締めるとききゅっ、きゅっとながら、背筋がすっと伸び、心もきゅりと引き締まっていくようだ。

「刀のさやが抜けない」と江戸時代の武士が愛用するなど、男性が身に着けることが多かった博多織。女性がまとうと、格好良さが引き立ち、気品のある凛とした雰囲気になると岡野理事長。「洋服と同じような感覚で、好きな色や柄を選んでほしい。シンプルながら、帯締めや帯揚げ、帯留めなどの合わせ方次第で、さまざまな表情がつけられるのも醍醐味です」とアドバイスする。

和の装いが似合うイベントがめじろ押し「博多秋博」では、博多織を見て、知って、堪能して。伝統美の奥深さを体感する特別な秋の日になりそうだ。

いくつもの「刀のさやが抜けない」と江戸時代の武士が愛用するなど、男性が身に着けることが多かった博多織。女性がまとうと、格好良さが引き立ち、気品のある凛とした雰囲気になると岡野理事長。「洋服と同じような感覚で、好きな色や柄を選んでほしい。シンプルながら、帯締めや帯揚げ、帯留めなどの合わせ方次第で、さまざまな表情がつけられるのも醍醐味です」とアドバイスする。

博多織に触れる 博多利博 期間中のイベント

和の博多 オープニングイベント

和の博多 9月29日(土)10:00~19:00 承天寺(博多駅前1-29-9)、承天寺通り

11月4日(日)まで開催される博多の和の魅力を発信するイベント「和の博多」の始まりはここから。博多をテーマにしたトークライブのほか、博多織の展示や博多織体験などのワークショップ、伝統芸能を楽しむステージも開催。承天寺通りには、日本酒やかまぼこなどの和の屋台が並ぶ。詳しくは「和の博多」で検索を。



●主催/博多の魅力発信会議、博多まちづくり推進協議会
●問い合わせ/博多の魅力発信会議事務局(博多区役所企画振興課) ☎092-419-1012

第116回 博多織求評会

11月9日(金)~11日(日)10:00~17:00 ※11日は~15:00 承天寺(博多駅前1-29-9)

博多織の新作展示会。普段は拝観できない承天寺境内が開放され、野だて茶会(有料)も実施。着物で来場した人には、博多織の小物をプレゼント。

●主催・問い合わせ/博多織工業組合 ☎092-409-5162



第12回 博多献上道中

11月3日(土・祝)16:00~20:00 マリンメッセ福岡-JR博多駅博多口駅前広場-大博通り-東長寺-御供所通り-博多千年門

人力車に乗った博多券番の芸妓を先頭に、黒留め袖に博多献上帯姿の女性が、同じく博多献上帯を締めたちょうちん持ちの男性を従えて、博多のまちを情緒たっぷりに歩く。道中で三味線と笛の演奏も披露。

●主催・問い合わせ/博多献上道中実行委員会 ☎080-3988-3201



KOUGEI EXPO in FUKUOKA

(第35回 伝統的工芸品月間国民会議全国大会 福岡大会)

11月2日(金)~4日(日)10:00~18:00 ※2日(金)は11:00~、4日(日)は~16:00 マリンメッセ福岡(博多区沖浜町7-1)

福岡県での開催は30年ぶりとなる「伝統的工芸品月間国民会議全国大会」。全国から集まる工芸品の展示や販売、実演などが実施される。山笠の展示や県内7産地の伝統的工芸品とクリエイターとのコラボレーション作品なども注目される。

●主催/経済産業省・伝統的工芸品月間推進会議・一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会・日本伝統工芸士会・福岡県伝統的工芸品月間推進協議会
●問い合わせ/福岡県観光政策課 ☎092-643-3454

気軽に体験 レンタル店

きものレンタル まゆの会
中央区天神3-4-8
天神重松ビル4F
☎092-735-1758

お気に入りの購入 販売店

博多織販売店 OKANO 博多リバレイン店
博多区下川端町3-1
博多リバレインモールB1F
☎092-283-8111

博多織工芸館(株)サヌイ織物
西区小戸3-51-22
☎092-883-7077

HAKATA JAPAN
博多区下川端町3-1
博多リバレインモール1F
☎092-263-1112



たくさん歩きたい

ポイント 軽くて動きやすいつむぎをチョイス。コスモスにも見える花柄の帯とイチョウの帯留めで、秋を取り入れて。
・着物/OKANO ・帯/はかた匠工芸
・バッグ/はかた匠工芸



夜のイベントへ

ポイント シックで落ち着いた雰囲気秋の夜長に似合う。淡い紫色の帯揚げを差し色に使用して、女性らしさを演出。
・着物/OKANO ・帯/はかた匠工芸
・バッグ/スタイリスト私物



昼のイベントへ

ポイント 上品な光沢のある無地の着物に、ポップな幾何学模様の帯を合わせて、カフェやレストランにも合うカジュアルさをプラス。
・着物/西村織物 ・帯/西村織物
・バッグ/OKANO

昼も夜も催しが充実する「博多秋博」にぴったりの着物と帯を博多織でそろえたシーン別コーディネートを紹介。スタイリングは着物スタイリスト、着付け講師の田中えり子先生。



多奈えりきもの教室 田中 えり子先生

「博多秋博」 コーディネート

博多織で訪れたい

第24回博多灯明ウォッチング2018

約4万個を超える灯明が
夢幻の世界をつくり出す

「博多灯明ウォッチング」は、博多のまちで昔から行われている「千灯明」をヒントに、灯明の灯りで博多の名所旧跡やまちな通りを幻想的に照らし出す情緒ある祭り。博多部の地域住民が協力し合って始めた祭りで、企画運営も地域が担う。そしてこれに賛同した企業が同時開催という形で参加している。

見どころは、4千〜5千個の灯明で描かれる巨大な地上絵で、それぞれの会場で趣向を凝らしている。今年のテーマは、御供所地区「御供所ひかり地図」、冷泉地区



「博多を巡る」、奈良屋地区「がんばろう あさくら」、大浜地区「2018宇宙の旅」。飾られる灯明の個数は博多部全体で4万個を超える。一夜限りのあかりのページェントを楽しんで。



10月20日(土) 18:00~21:00

会場 冷泉周辺/榊田神社(上川端町1-41)、奈良屋周辺/博多小学校(奈良屋町1-38) 大浜周辺/はまかぜ広場(下呉服町10)、浜口公園(下呉服町3) 御供所周辺/承天寺通り(博多駅前1)、旧御供所小学校跡地(御供所町8) 同時開催 ペイサイドブレイス博多(築港本町13-6)周辺、博多リバイン(下川端町3-1)周辺、JR博多駅博多口駅前広場(博多駅中央街1-1)、東長寺(御供所町2-4)など 主催・問い合わせ 博多部まちづくり協議会 ☎092-281-0343 大浜公民館 ※開催前日まで対応可 [公式HP]http://www.hakata-toumyou.com

2018博多情緒めぐり

博多のまちに残る寺社や名所旧跡などを訪ね歩く「博多情緒めぐり」。今年で13回目となる博多の秋の恒例イベントだ。博多の歴史に詳しい「博多の語り部」が



ユーモアを交えた語り口でまちの魅力を案内する。コースは全て榊田神社からスタートし、所要時間は約2時間。参加費は500円〜2千円(コースにより異なる)。

10月5日(金)~9日(火)、12日(金)~16日(火)

各コース開始時間 午前部/10:00 午後部/14:00 所要時間 約2時間 ①博多旧市街の寺社を訪ねる ②博多川端の心に出会う街 ③お榊田さんから住吉さん ④博多のお宝探し 主催 福岡市観光案内ボランティア協会 問い合わせ 2018博多情緒めぐり ☎080-8397-9256(受付時間/10:00~15:30)

特別展 「浄土九州—九州の浄土教美術—」

日本人の生き方に大きな影響を及ぼした浄土信仰。九州で生み出された絵画や彫刻などの浄土教美術品約200点を披露する。会期中の毎週水・金曜に、担当学芸員がギャラリートークを実施。



9月15日(土)~11月4日(日) 9:30~17:30(入場は17:00) 福岡市博物館(福岡市早良区百道浜3-1-1) 主催問い合わせ ☎092-84455011 福岡市博物館

LAVIEN CHEESE チーズトワイニング de シネマ

チーズを使ったさまざまな料理やワインが大集合し、その場でいただける。9月22日(土)と23日(日・祝)の19:30からは屋外映画館「ペイサイドシアター」で名作映画が上映(500円)される。 9月22日(土)・24日(月・休)12:00~21:00(24日は18:00) ペイサイドブレイス博多(築港本町13-6) 主催問い合わせ ☎092-281-17701

第19回 「博多の街のギャラリーバス」

博多小学校の6年生が「博多のまち」の良か所をテーマに描いたすてきな絵を全長18kmの連節バス2台、路線バス2台の車内に掲示して、走らせる。10月1日(月)~31日(水) 運行時間については西鉄くらしネットで確認を 博多大博通リクラブ ☎092-291-6336

魚宴さかなまつり 2018

子どもたちに魚のおいしさを知ってもらおうと開かれる魚尽くしの催し。各地の旬の魚を使った料理やすしの食べ比べのほか、魚のつかみ取りやエビ釣り、魚のワークショップなどお楽しみが盛りだくさん。



10月5日(金)~8日(月・祝) 11:00~19:00(初日は15:00) ペイサイドブレイス博多(築港本町13-6) 主催問い合わせ ☎092-281-17701

博多町家ふるさと館のイベント

着物で博多まち歩き

着物、着付け、展示棟入館チケット付きのレンタルプラン(3300円)を用意。要申し込み、先着10人。



11月30日(金の毎日) 10:00~17:00 ※9月25日(火)、10月22日(日)、11月25日(日)休

反物巻き取り選手権

博多織の反物をきれいに早く巻き取るレース。期間中、1位になった人には豪華賞品をプレゼント。



9月30日(日)~11月25日(日)の毎週日曜 13:00~14:00

777年の伝統を祝って 博多織展

発展し続ける博多織の奥深い歴史と魅力を紹介。人間国宝の小川善三郎氏、規三郎氏による博多織の作品も展示。

9月26日(水)~11月25日(日) ※10月22日(日)休 9月10日は9:00~17:00 11月は10:00~18:00 (入館は開館30分前まで)

博多織キヤッチャー

博多織商品を景品にしたクレーンゲーム機が登場。



9月26日(水)~11月11日(日) ※10月22日(日)休 9月10日は9:00~17:00 11月は10:00~18:00 (入館は開館30分前まで)

住吉神社例大祭(相撲会大祭)

稚児行列や馬上から矢を放つ流鏑馬、少年相撲大会が奉納される。少年相撲大会は地域の5小学校(住吉、春吉、東住吉、春住、高宮)の児童が参加し、少年横綱を決める。



10月12日(金)9:00~少年相撲大会 16:00~稚児行列 13日(土)10:00~例大祭本殿祭 11:30~流鏑馬 住吉神社(住吉3-1-51) 主催問い合わせ ☎092-291-2670 住吉神社

福岡オクトーバーフェスト2018

ドイツ・バイエルンビール協会が唯一公認する福岡。本場のビールに家庭料理が勢ぞろい。さらには会場の生演奏で会場が盛り上がる。



10月19日(金)~28日(日) 16:00~22:00(土日曜は11:00) 冷泉公園(上川端町7) 主催問い合わせ ☎080-46953572 福岡オクトーバーフェスト実行委員会

大博多輸入雑貨市@住吉神社

世界20カ国以上から集められた雑貨や、各国の本場の味を提供するインターナショナルフードのブースがずらりと並び、会場は多国籍なお祭りムードに包まれる。



10月20日(土)、21日(日)10:00~18:00 住吉神社表参道南参道(住吉3-1-51) Sweet Rocket Plus 大博多輸入雑貨市 ☎090977714938

ランタン作りワークショップ

福岡アジア美術館のレジデンスプログラムに滞在中のベトナム人アーティスト、トゥー・キムウー氏と紙を使ったランタンを作る。要申し込み、参加費1500円。 9月29日(土) 10:00~17:30

能のイロハ

能楽師で重要無形文化財総合認定保持者の久貫弘能氏、白坂保行氏が能の魅力を分かりやすくレクチャーする。要申し込み、先着30人。 10月4日(木)18日(木)、11月1日(木)、15日(木) 13:00~14:00

ダンボールで織る ミニタペストリー

段ボールを使ったミニタペストリー作りを博多織士が指導。要申し込み、参加費1500円。各回先着10人。 10月7日(日)、11月23日(金・祝) 13:00~15:00

古文書はじめて講座

「筑前黒田家文書を読む会」会長 天本孝久氏と同館館長の長谷川法世氏が超初心者向けに「筑前国続風土記」を解説する。要申し込み、9月30日(日)まで受付。抽選後、当選者に連絡。参加費2千円(4回分)。 10月18日(木)、11月15日(木)、12月10日(木)、2019年1月17日(木) 18:00~19:30



講話「博多織777年」

博多織工業組合副理事長、讃井勝彦氏が博多織の伝統と革新を語る。要申し込み。 10月20日(土)、11月10日(土) 13:00~14:00

博多おくんち

約1200年前から続く秋の豊作に感謝する伝統行事。牛車に引かれたみこしや稚児行列などが博多部一帯を練り歩く。五穀豊穡市も開かれる。 10月23日(火)、24日(水) 榊田神社(上川端町1-41) 主催問い合わせ ☎092-291-2651 榊田神社

はかた伝統工芸館のイベント ※全て入館無料

博多伝統職の会展

福岡県特産民工芸品である「博多曲物」「博多張り子」「博多鉄」「マルティグラス」「博多独楽」今宵人形の展示・販売。 9月27日(木)~10月2日(火) 10:00~18:00(最終日は17:00)

博多織伝統工芸士展 博多織伝統工芸士の匠の技が一堂に会する作品展。帯を中心に日常着いできる小物などの販売もある。 10月4日(木)~9日(火) 10:00~18:00(最終日は17:00)

新作博多人形展 in HAKATA 福岡の伝統的工芸品である博多人形の新作展。購入可。 10月11日(木)~23日(火) 10:00~18:00(最終日は17:00)

木村博多織 手織り専門工房展 博多織の手織りにこだわり続ける木村佐次男氏と娘ゆき子さんの作品展。 10月25日(木)~30日(火) 10:00~18:00(最終日は17:00)

はかた伝統工芸館(上川端町6-1) 主催問い合わせ ☎092-409-5450



東長寺特別拝観とおいしい秋のまち歩き
 域に密着した観光案内が評判の「博多ガイドの会」と博多のまちを巡る。今回は博多秋博の開催に合わせて、特別に公開される東長寺の五重塔の内陣を拝観

東長寺五重塔秋の特別拝観
10月12日(金)～16日(火)
 五重塔をガイドの説明を交えながら約30分拝観する。普段は入れない内陣や、六角堂の見学も。雨天、強風の場合は中止。
11月1日(木)・4日(日)・5日(月)
 東林寺から住吉神社を訪ね、着物の似合う築水園の日本庭園を散策後、お茶室にて抹茶をいただく人気コース。
11月14日(水)～16日(金)
 東林寺、住吉神社へ。境内に宿舎のある浅香山部屋屋の力士に会えるかも。最後に日本酒のミニ講座と飲み比べを体験。
 主催・問い合わせ
 博多ガイドの会事務局(博多区役所企画振興課)
 ☎092-419-1012

第43回 中洲まつり

法被姿の女性約500人による「中洲國廣女みこし」やあでやかな花魁道中が街を華やかに演出する。



10月26日(金)・27日(土) 18:00～22:00
 10月25日(木)「フレイブント」はし「酒大会」中洲1-5丁目
 主催 中洲まつり実行委員会
 問い合わせ ☎092-272-1440
 (平日10:00～17:00)

博多ハロウィン 仮装パレード&コンテスト2018

個性豊かなパレード隊が博多リブレインモールから博多川端商店街をにぎやかに通り抜ける。ゴールのキャナルシティ博多では、仮装コンテストを開催。



画像は昨年

博多織特別販売会

博多織の帯を中心に展示、販売。オーダーメイド注文も受け付け。博多織士による商品の説明や選び方のアドバイスも。
 10月31日(水)～11月11日(日) 11:00～17:00
 「博多旧市街ライトアップウォーク2018」の各会場を、福岡市観光案内ボランティアガイドが案内。要

博多旧市街ライトアップウォーク 見どころツアー

「博多旧市街ライトアップウォーク2018」の各会場を、福岡市観光案内ボランティアガイドが案内。要

「博多町家」ふるさと館のイベント

博多まちづくり推進協議会、キャナルシティ博多博多リブレインモール 問い合わせ ☎092-282-2025
 キャナルシティ博多情報サービスセンター [E] <http://canacity.co.jp>

博多旧市街ライトアップウォーク2018 千年煌夜

闇夜に浮かぶ幽玄の美 今年のテーマは博多織

博 多の伝統や歴史を現代に語り継ぐ数多くの寺や神社を、光の演出で美しく映し出すのが「博多旧市街ライトアップウォーク2018 千年煌夜」だ。今年で13回目となり、イベント名には「博多がこれからますますきらめくまちであるように」との思いが込められている。今年このコンセプトは、発祥から777年を迎えた「博多織」。10会場(有料)と無料で観覧できる6会場を合わせた計16会場で光の競演が繰り広げられる。今回は新たに「一行寺と「博多町家」ふるさと館、

はかた伝統工芸館が会場に加わった。人気会場の一つ、承天寺では世界各国の照明デザイナーと地元・福岡の学生とのコラボレーション企画「ライトアジア」を実施。平日限定の東長寺での福岡大仏ライトアップも注目が高まっている。期間中はグルメ屋台などが登場する夜市や茶会なども開かれる。

秋の宵、創意を凝らした光の数々が幽玄の美を織り成し、昼間とはひと味違う博多の魅力が浮かび上がる。



10月31日(水)～11月4日(日) 17:30～21:00(入場は20:45まで)
 ※小雨決行

会場 柳田神社、承天寺、東長寺、妙楽寺、円覚寺、本岳寺、善導寺、妙典寺、龍宮寺、海元寺
 無料会場 柳田神社(清道にぎわいステージ)、正定寺山門、一行寺山門、博多千年門、葛城地藏尊、「博多町家」ふるさと館、はかた伝統工芸館

紙チケット 前売1000円/当日1500円
 購入方法 「博多町家」ふるさと館、はかた伝統工芸館、柳田神社お礼所、福岡市観光案内所(天神・博多駅)、セブンチケット、ローソンチケット
 チケット (当日特設券売所) 柳田神社境内、承天寺、東長寺山門横、本岳寺

eチケット 前売950円/当日1450円
 ※eチケットは右記QRコードを読み取りチケットを購入
 Yahoo! JAPAN/バスマーケット

主催・問い合わせ
 インフォメーションセンター ☎092-283-5041(平日10:00～17:00)
 [公式HP] <http://www.hakata-light.jp/>



申し込み参加費2千円(ライトアップウォークチケット、軽食付き)。中学生以下は保護者同伴。
 10月31日(水)、11月1日(木) 17:00～20:00

着こなし上手コンテスト

「博多旧市街ライトアップウォーク2018」期間中、「博多町家」ふるさと館付近で着物を着て撮影した写真を応募すると、投票で上位3人に景品のプレゼント。
 ●応募受付期間
 10月31日(水)～11月5日(月)
 ※投票 11月5日(月)～25日(日)に「博多町家ふるさと館」もしくは「着こなし上手コンテスト」フェイスブックページで実施
 ※応募はEメール furusatokan@fakatacity.aon.kan.saga.ac.jp (文中に「着こなし上手コンテスト2018」を入れるで受け付け)

舞と囃子の夕べ 能のエッセンス

博多町家を舞台上に上演。シテ・久貫弘能氏、笛・森田徳和氏、小鼓・幸正佳氏、大鼓・白坂保行氏、太鼓・田中達氏
 11月2日(金) 19:00

川上音二郎忌

オッペケペー節で知られる川上音二郎。西洋演劇を日本に紹介し、近代演劇の発展に貢献した音二郎を顕彰し、菩提寺である承天寺で法要を営む。
 11月11日(日) 11:00
 承天寺(博多駅前1-29-9)
 主催 川上音二郎忌世話人会

聖一国師顕彰会 in 福岡 「水磨様」展示

「静岡茶の祖」といわれる聖一国師が、大陸から持ち帰った粉ひきの技法「水磨様」の12分の1縮尺模型を展示。
 11月12日(月)～25日(日) 10:00～18:00
 主催 静岡商工会議所

千年夜市

アジアのナイトマーケットをモチーフにした、福岡・博多の安全で安心な新しい夜の遊び場。今年も会場を約600個のちようちんで照らし、飲食店や雑貨、占いの店などが出店する。
 10月28日(日)の毎週金・土・日曜(9月21日・28日、10月5日・7日は除く) 15:00～23:00
 清流公園(中洲1-7)
 主催・問い合わせ ☎090-5488-95747
 千年夜市実行委員会

第6回 御供所周辺 ほろ酔いそうつき隊

風情ある御供所地区の飲食店を「そうつき(歩き回る)」食べ飲み歩きイベント。参加する約30店が自慢の「昼/ランチメニュー」「夜/ほろ酔いメニュー」を提供する。チケットは6枚つづりで前売り3千円(当日3600円)。
 10月23日(火)～25日(木) 御供所地区一帯
 主催 御供所名店会・御供所まちづくり協議会
 問い合わせ ☎092-283-3775

中世博多の風景展

中世博多の風景をクロールズアップした企画展。中世に描かれた博多湾沿岸一帯の絵画史料や、和歌、紀行文、寺社縁起などの文芸史料を紹介する。
 10月30日(火)～12月24日(月・休) 9:30～17:30(入場は17:00)
 ※12月24日を除く毎週月曜休
 主催 福岡市博物館(福岡市早良区百道浜3-1-1) 福岡市博物館 ☎092-84455011

同館館長の漫画家・長谷川法世氏が思い出を一枚の絵にするこつを教える。完成した絵は「博多町家思い出図画展」に出品。40歳以上対象。要申し込み、参加費2回で千円。
 11月24日(土)、12月1日(土) 13:00～15:00 ※連講座
 主催・問い合わせ 「博多町家ふるさと館」(冷泉町6-10) ☎092-281-7761

はかた伝統工芸館のイベント つなぐ・わざ 伝統工芸展

「伝統的工芸品月間国民会議全国大会」博多織777周年を記念し、博多織や博多人形などの歴史や作品を展示して紹介する。博多織アクセサリー作りのワークショップもある。
 11月1日(木)～8日(木) 10:00～18:00(最終日は15:00)
 ※全て入館無料

第5回 はかた伝統工芸館 秋まつり「博多商店」

博多人形や博多織、モビールなど12のものづくりを日替わりで体験できる(有料)。物販やグルメの販売もあり。
 11月10日(土)、11日(日) 10:00～18:00(最終日は15:00)
 主催・問い合わせ はかた伝統工芸館(上川端町6-1) ☎092-409-5450

肥後の民工藝品展

熊本県の伝統工芸品や民工藝品を一堂に集めて、展示・販売する。工芸士による実演あり。
 11月15日(木)～20日(火) 10:00～18:00(最終日は15:00)
 主催・問い合わせ はかた伝統工芸館(上川端町6-1) ☎092-409-5450



博多旧市街 まるごとミュージアム

歴史ある寺社や仏閣などが残る博多部で、多彩な現代アートを屋外展示する。大人から子どもまで幅広い世代が楽しめる。
 10月31日(水)～11月4日(日) 出来町公園(博多駅前1-10)、龍宮寺(冷泉町4-21)、「博多町家」ふるさと館(冷泉町6-10)、福岡アジア美術館(下川端町3-1)、博多座(下川端町2-1)など
 主催・問い合わせ まるごとミュージアム実行委員会事務局 ☎092-711-4069
 (平日9:00～17:30)

住吉神社 横綱奉納土俵入り

日本相撲協会の公式行事で、毎年九州場所前に開催される。約3千人の観衆は格調高い横綱の土俵入りを間近で見られる。
 11月2日(金) 13:30～15:00
 住吉神社(住吉3-1-51)
 主催 日本相撲協会
 問い合わせ ☎092-291-2670 住吉神社

第4回 川端夜祭

川端商店街内の飲食店が通りに出店。多彩なフードやドリンクの他、手作りアクセサリーなどのマルシェも登場。メインステージでは音楽ライブやパフォーマンスが繰り広げられる。
 11月2日(金) 17:00～21:00
 ※マルシェの一部は午前中から
 主催 上川端商店街振興組合、川端中央商店街振興組合
 問い合わせ ☎092-226-16223 上川端商店街振興組合



